

# 感染状況・医療提供体制の分析（11月18日時点）

【11月19日モニタリング会議】

区分	モニタリング項目 ※①～⑤は7日間移動平均で算出	前回の数値 (11月11日公表時点)	現在の数値 (11月18日公表時点)	前回との比較	(参考) 緊急事態宣言下での最大値	項目ごとの分析※4	
感染状況	①新規陽性者数※5 (うち65歳以上)	244.3人 (33.9人)	325.7人 (43.3人)		167.0人 (4/14)	総括コメント <b>感染が拡大していると思われる</b>	
	潜在・市中感染					新規陽性者数と接触歴等不明者数は大幅に増加しており、急速な感染拡大の局面を迎えた。 特に、重症化リスクの高い高齢者の新規陽性者数が増加しており、高齢者への感染の機会を、あらゆる場面で減らすことが必要である。	
	②#7119（東京消防庁救急相談センター）※1における発熱等相談件数	56.1件	57.9件		114.7件 (4/8)		
	③新規陽性者における接触歴等不明者※5	数 137.4人	182.7人		116.9人 (4/14)		
	増加比※2	151.5%	133.0%		281.7% (4/9)		
医療提供体制	検査体制					総括コメント <b>体制強化が必要であると思われる</b>	
	④検査の陽性率（PCR・抗原）（検査人数）	5.0% (4,556.6人)	5.8% (5,368.7人)		31.7% (4/11)		
	受入体制	⑤救急医療の東京ルール※3の適用件数	42.0件	47.3件		100.0件 (5/5)	入院が必要な患者の急増に対応できる病床の確保が急務である。 重症患者数の増加が続けば、予定手術等の制限をせざるを得なくなり、通常医療の維持と重症患者のための病床の確保との両立が困難になる。
		⑥入院患者数 (準備病床数)	1,076人 (2,640床)	1,354人 (2,640床)		1,413人 (5/12)	
⑦重症患者数 人工呼吸器管理（ECMO含む）が必要な患者（準備病床数）		38人 (150床)	39人 (150床)		105人 (4/28,29)		

※1「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口

※2 新規陽性者における接触歴等不明者の増加比は、絶対値で評価

※3「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

※4 分析にあたっては、上記項目以外にも新規陽性者の年齢別発生状況などの患者動向や病床別入院患者数等も参照

※5 都外居住者が自己採取し郵送した検体による新規陽性者分を除く。